

# #いつものこと



朝8時。3階の窓から駐車場に向かって手をふる。  
いつからか始まった、タカさんのモーニングルーティーン。  
なぜ8時か。それは、職員が続々と出勤してくる時間だから。  
一人ひとりに手を振るタカさん。手を振り返す職員。  
それが、タカさんと私たちのいつものこと。  
時々、遅刻しそうで慌てていて手を振り忘れる職員には  
「おめーは夢中で走ってて気付かねーんだから！」と怒る。  
でも、タカさんも寝坊していなかったりする。おあいこですね 笑  
冬になると「寒いだよ～」と姿が見えません。寂しいけど、また春に！



#私たちとタカさんの繋がり #朝から元気をもらえます #ありがとうございます



## Story

## 「もし間に合わなかったら…」



「言葉には表せないくらい幸せな一日でした。長男が結婚すると決めた時、写真だけでも早めに撮って母に見せてあげたいと思いました。体調を考えると、もし結婚式に間に合わなかったら…ということが最大の不安だったのです。」入居されているトシさんの娘様の言葉です。

トシさんの1番の生きがいはお孫さんです。19年間一緒に暮らし、お孫さんはトシさんが作る“すみつかれ”が大好きでした。離れて暮らすことになった頃から料理も徐々にしなくなり、元気がなくなってしまったそうです。入居当時は体調がおもわしくない状態でしたが、「トシさんがお孫さんの結婚式に出席すること」が娘様と私たちの目標になりました。

そこで、式の間起きていられる体力作りとして、少しずつ離床時間を長くするなど体調管理していきました。コロナ禍で面会できない時期も、ご家族が「結婚式で会えること楽しみにしてるよ。」とメッセージや差し入れで何度も何度も励まし続けて下さった結果…、1年後の結婚式を迎えることができました。式は家族の絆と愛情に溢れていて、トシさんもそうやって娘様やお孫さんを育ててこられたんだと強く感じました。お孫さんを見つめるトシさんの笑顔が何より嬉しかったです。

文：中野美咲、霜田芳子

ショートステイ玉樹

## Story

## 涙のワケ。伝えたい想い。



「俺ものど自慢大会に出たい」と涙ながらに話すカズさん。「おふくろも玉樹でお世話になっていたけど、まさか俺もお世話になるとは思っていなかったよ。入居していた時に、おふくろがスイカを食べている写真が東京の銀座に飾られて、そこにおふくろを連れて行ってもらったんだ。その写真が仏壇に飾ってあるんだ。撮ってくれた人はまだいるの？俺はあんまり親孝行できなかったから、のど自慢大会に出て、みんなの前で感謝の気持ちを伝えて、その写真を持って歌いたいんだ。」と涙のワケを教えてくださいました。

私は当時、お母様が入居されていたユニットで働いており、15年後にショートステイを利用されることになったカズさんから、この想いを聞きました。話し方やふとした仕草がお母様と似ていて、想い出話をしていると私も気持ちがほっこりします。普段は車椅子ですが、のど自慢大会は立って歌いたいと頑張っていて、何度も練習されるその度に想いが溢れ、涙がきらり…。本番はこれからですが、カズさんが15年越しに伝えたい想いを無事に届けられるよう全力でサポートさせていただきます。

文：猪瀬聡子

イベント

## 3年ぶりのワクワク。

ご利用者の「〇〇したい!」を叶えたいのに、なかなか外出できないもどかしさが続いたコロナ禍。遠出や初詣は約3年ぶりです!非日常のワクワクする気持ちを、久しぶりに一緒に楽しむことができました♪



はたらく人

## 外国人技能実習生が仲間入り。



当法人で初めて受け入れる外国人技能実習生、ベトナム出身のニウンさんとクエンさんです。茨城県や外国人材支援センターの支援を受けながら技能実習生を受け入れる「茨城県コース」の採択を受けてから1年半。コロナ禍の状況で中々入国できず、11月末から一緒に働き始めました。母国では日本の文化や言葉を学び、日常的な会話なら理解できる程度の日本語能力試験に合格しています。

日本人スタッフに聞いてみました。

○ご利用者の反応は?

「ベトナムはどの辺なの?」「両親は元気?」「頑張ってね!」「日本語が段々上手になってるね」など、ご利用者から沢山話しかけて下さっています。分からない言葉があって何度か聞き返しても、表現を変えて伝えて下さっています。」

○どのようにコミュニケーションをとっていますか?

「基本的には日本語です。ゆっくりと短い文章で話し、実際の物を見てもらい、ちゃんと理解しているかなっていうのを確認しながら話すようにしています。」

○一緒に働いてみて感じたことは?

「外国で働こうと思い来てくれたことに、日々感心させられていて私自身も刺激を受けています。」

「お話も対応も丁寧です。声も優しくて、気持ちの良い挨拶をしてくれます。」



ニウンさん・クエンさん  
自己紹介動画はコチラから→→→

スマートフォンのカメラから、右のQRコードを読み取ると、動画を見ることができます。



## ご報告 新型コロナウイルス感染症

当施設にて新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生し、ご利用者・ご家族をはじめ関係者の皆さまには、大変ご心配をおかけしましたこと、心よりお詫び申し上げます。

12/10、入居ご利用者1名の陽性が判明。同時に、陽性者発生ユニットを居室対応へ切り替え、ゾーニングを行い緊急事態の対応を開始しました。

12/22、ショートステイご利用者、12/24 他入居ユニットご利用者の感染が判明し、フロア全体を緊急事態対応としました。非常態勢期間中は、関連ご利用者・職員の抗原検査を実施。

1/12 感染者の療養期間が終了し、非常態勢解除となりました。

今後も感染対策を徹底し、ご利用者の暮らしを守っていけるよう努めてまいります。



### 【関連ご利用者、職員の感染状況】

ご利用者 20 名

(施設療養 18 名、自宅療養 1 名、入院 1 名)

職員 14 名

(自宅療養 14 名)

### 【非常態勢期間】

入居 2 ユニット、ショートステイ

12/10～1/11(計 33 日間)

デイサービスセンター玉樹

## ケアの広場

## 家での暮らしが楽になるデイサービス



下肢筋力・体幹トレーニング、関節可動域訓練、ホットパック等

2023年1月より、デイサービスセンター玉樹では、個別機能訓練プログラムを実施しています。目的は【家での暮らしが楽になる】ことです。現状維持ではなく「今より少しでも良くなる」ことを目指しています。

例えば、現在介助が必要な方でも、半年後にトイレでの排泄動作を自分で出来るようになる、自分で食べることが出来る、歩けるようになる等です。専門の機能訓練指導員が一人ひとりの現状に合わせた個別プログラムを作成・実施し、自宅で出来る運動も指導しています。

また、「半年後にチームを組んでグランドゴルフに行きたい」という夢を共有し、歩行訓練をしている方もいます。夢をもつと前向きに取り組める原動力になります。歩行がスムーズになれば、日常生活も潤っていきます。

ご利用者が今より少しでも元気になることで介護負担軽減にも繋がる、そして、家での暮らしが楽になるデイサービスにしていきたいと思っております。

文：植田 栞